

輸送サービス労組水戸地本 第4回臨時大会を開催！

大会宣言

私たちJR東日本輸送サービス労働組合水戸地方本部は、日立シビックセンターにおいて「第4回臨時大会」を開催し、すべての仲間のためのたたかいを前進させる「規約諸規則の改正」を満場一致で確認した。そして、「法人格」の取得を通じて第三者機関を活用した職場からのたたかいをさらに強化していくことを確認した。

2月19日に開催した第2回定期地方委員会では、時季変更権を行使された当月の再申込について「泊まり行路の際には2日分申し込む」という一般的な取り扱いを現場長とのコミュニケーションで「1日のみの年休取得」が正当であるという認識を勝ち取った職場運動の実践、異常時共有アプリ初期化設定等を曖昧な業務指示で労働時間管理できなかった問題を改善してきたたたかい、双葉一浪江間の退避路に対して会社主導ではなく労働者主導で職場議論をつくってきた実践などが発言され、組合員や未加入者の声から問題を解決してきた成果を確認してきた。

一方で、ダイヤ改正に端を発する問題については、現場長とその問題意識を一致させたにも関わらず、会社は団体交渉で「その認識はない」「問題はない」との回答に終始し、労働者の声だけではなく現場長の意見すら受け止めない姿勢を貫いた。これは、施策に対しては現場からその正当性を指摘しても変えないという表れであり、労働組合の意見は一切受け入れないことを意味している。この間、団体交渉による問題の解決を目指してきたが、このような会社姿勢が貫き通されるのであれば労使議論による自主的解決は困難であり、第三者機関を活用したたたかいを判断しなければならない。このことは、会社側が意図的に労使間の問題を作り出しているとも言え、断じて容認できない。

地本は、これらの発言を受け、異例ではあるが地方委員会の休会時間において第10回執行委員会を開催し、第三者機関を活用するたたかいをよりスピード感をもって柔軟に対応することの必要性を確認し、「法人格の取得に向けた準備に入る」ことを打ち出した。この方針は、①不当労働行為および団体交渉の形骸化の是正と抑止力 ②職場活動のさらなる活性化 ③組織の将来展望を見据えて掲げたものである。そして、この方針に対し、今臨時大会において法人格取得の意義を踏まえた職場からのたたかいの重要性を参加者全体で確認し、その方針が強化された。よって、地本は第5回定期大会までに「法人格」を取得し、第三者機関を活用したたたかう体制を確実に強化していく。

会社は、水戸地本板倉執行副委員長に対し、生活設計を一切考慮しない、さらには輸送サービス労組の弱体化を狙った支配介入の不当転勤を行った。これは、明らかに「法人格」の取得に向けた反動であると見ておかなければならない。私たちは、会社による組織介入の不当労働行為を許さず、あらゆる手段を駆使して闘い、健全で正常なJR東日本会社とグループ会社を取り戻していくために決起していく。そして、輸送サービス労組結成以降に行われた強制転勤によって発生している組合員の不利益を決して見過ごすことはできない。組合員の生活権をも侵害する強制転勤に対し、断固として闘うものである。

3月12日、会社は「2022年3月ダイヤ改正」および「乗務員の業務等の見直し」施策を実施した。その施策では、労働条件が変更されたにも関わらず、会社からは労働条件や労働時間の詳細が一切説明されず、未だに示されていない。そして、列車の運行に遅れを発生させないために勤務開始前に行った業務に対し、会社は指示がなければ時間外労働を認めない姿勢を貫いている。このことは明らかな36違反であり、是正を求めてあらゆる手段を駆使して闘わなければならない。また、系統分離を行った土浦駅では利用者から「不便になった」という声が絶えず、混乱を極めている。このような施策によるサービス低下は断じて容認できるものではない。

私たちは水戸線中編成ワンマン施策の実施に向けた「食事も摂れない臨時行路の問題」について、水戸労働基準監督署に是正申告し、「指導票」に基づく水戸支社への指導を勝ち取ってきた。この教訓は、職場の問題を解決するために第三者機関を躊躇なく活用してきたことにある。会社が生産性向上と利益を追求するあまり、安全とサービス品質、労働条件を鑑みず施策を実施するのであれば、団体交渉での解決を目指しつつも第三者機関の活用を視野に入れて対峙しなければならない。

会社が打ち出す施策に対し、組合員や未加入者から不安の声が渦巻いている。私たちは、その不安を払拭し、会社に怒りを持つすべての仲間のための闘いを推し進めなければならない。そして、健全で正常なJR東日本会社を取り戻し、安全で安心して働ける職場を創り出すためにも法人格を取得する意義を全組合員で確認し、第三者機関を活用した闘いを職場から強化して組織の強化・拡大を実現していく。輸送サービス労組水戸地本は法人格の取得を新たなスタートとして、全組合員の実践を通じた職場活動で私たちの未来を切り拓いていくのではないかと！

以上、宣言する。

2022年5月9日
JR東日本輸送サービス労働組合
水戸地方本部
第4回臨時大会

私たちの未来を切り拓く！
大会宣言 可決！
法人格の取得を新たなスタートに！